

## ニューノーマル 新しい生活様式

感染管理認定看護師 豊崎真希

5月25日に全国で緊急事態宣言が解除されてから、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は増加傾向にあります。一人ひとりが日常生活の中で予防対策を実施することが求められており、最近では新型コロナウイルス感染症の予防に「新しい生活様式(ニューノーマル)」の実践という言葉が使われています。

新しい生活様式とは、**3つの密**(換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面)を避け、**3つの基本**(身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い)をベースに、他者との接触を減らすような新しい日常の生活様式を取り入れる考え方で、厚生労働省から「新しい生活様式」の実践例として示されています。項目は、**一人ひとりの基本的感染対策、基本的な生活様式、場面別の生活様式、働き方のスタイル**の4つで構成されています。例えば、場面別の生活様式では、食事は対面ではなく横並びでおしゃべりは控えめに、娯楽やスポーツは動画やオンラインで、買い物は電子決



### 安房地域医療センター

☎ 0470-25-5111

済の利用やレジを待つ列では距離をとること等を示しています。

日常生活を変えることは簡単ではないかもしれませんが、各々がどうすれば予防する行動がとれるかを考え、実践し、続けることで当たり前の行動となり「新しい常識」になっていくものと考えます。私たち一人ひとりが、何ができるかを考え、行動していきましょう。

新しい生活様式の実践例



人との接触を8割減らす10のポイント



出典：厚生労働省ホームページ

## オープンキャンパスが好評

### ～在校生と直接対話～

安房医療福祉専門学校(看護学科3年課程)では、7月23日、8月1日、8月23日にオープンキャンパスを開催しました。今年度は新型コロナ感染拡大の影響を受け、当初予定していた4月と6月の開催は中止を余儀なくされ、上記日程での開催となりました。

感染防止のため、参加者の人数を制限した上で、検温・問診の実施、会場内でのマスク着用といった基本的な対策の他、例年行っている安房地域医療センターの見学とランチ懇親会は中止、一部プログラムを変更して開催しましたが、在校生と入学希望者が直接対話できる貴重な機会に、ご参加いただいた方々からは好評を得ることが出来ました。

☆10月以降は、10/3(土)、11/7(土)、12/5(土)、1/9(土)にミニオープンキャンパスを開催いたします。

### 安房医療福祉専門学校

☎ 0470-28-5100



#### 本年度の入試日程

◇指定校制推薦、公募制推薦、

入学試験A

2020年10月18日(日)

願書受付期間

2020年8月31日(月)～10月8日(木)

◇入学試験B

2020年12月13日(日)

願書受付期間

2020年11月2日(月)～12月2日(水)

◇入学試験C

2021年1月23日(土)

願書受付期間

2020年12月14日(月)～2021年1月13日(水)

◇入学試験D

2021年3月13日(土)

願書受付期間

2021年1月18日(月)

～2021年3月6日(土)



編集後記 今年も太陽会のタイムリーな話題をお伝えできるよう、広報委員一同頑張っています。(広報委員会)

社会福祉法人 太陽会 広報誌 OHANA Vol.50 2020年9月30日発行  
発行責任者/茂木 修 編集責任者/三橋祥江 広報委員/石井・今井・岡崎・川上・小嶋・内藤・梨岡・藤田 印刷/編集協力/有限会社コアコミュニケーション

社会福祉法人 太陽会 〒296-0124 千葉県鴨川市大幡1222-1  
TEL.04-7096-6100 FAX.04-7096-6101

# OHANA



社会福祉法人太陽会 広報誌

2020

秋号

VOL.50

社会福祉法人 太陽会

〒296-0124

千葉県鴨川市大幡1222-1

TEL 04-7096-6100

FAX 04-7096-6101



▲写真：題名「小さな秋」 まんぼうご利用者 岡田 光子 様

- 2 リレー連載 第2回 施設長が語る「誰もが教えられる職員に」
- 3 OURS 「みんなで作った水族館」他 OURS baby 「感触あそびで五感を磨こう!!」
- 4 まんぼう 「洋裁クラブでマスクづくり」らんまん 「亀ママキッチンへようこそ!!」他
- 5 たいよう 「そうめん流し」しあわせの里 「日中活動・ドライブ」 「七夕食事会」
- 6 めぐみの里 「そうめん おいしいね～」ちょこっとPR～らんまんから～技能実習生のご紹介 No.3
- 7 地域との連携・交流 勤続30年表彰者に聞く シリーズ 人生の達人に聞く
- 8 安房地域医療センター 「新しい生活様式」安房医療福祉専門学校 「オープンキャンパス」他

OHANA・オハナはハワイ語で家族。広い意味では、どんな時でも助け合い、いつもどこかでつながっている、そんな人と人との関係を、オハナと呼ぶようです。すべての人びとがOHANAであるよう願いを込めて、太陽会の広報誌をお届けします。



# 誰もが教えられる職員に

特別養護老人ホームめぐみの里  
施設長

和泉 悟



## Q いつも大事に思うことは？

1995年に、介護老人保健施設た  
いようのオープニングスタッフとし  
て入職し、介護職員として従事して  
まいりました。そこでさまざまな経  
験をいたしました。同期のメンバー  
も少しずつ減っていき、時には自  
分も辞めようと思うときもありま  
したが、「今、目の前にいる方を救え  
ないなら他にいても同じだろう」と、  
目の前にいるご利用者の思いを  
大切に、介護をしてきました。

2012年にまだまだ未熟ながらめ  
ぐみの里の施設長に就任し、まず自  
分がすべきことを考えました。それ  
は、目的と方向性を明確にすること  
であり、自分も若いころはあまり気  
にしていなかった（お恥ずかしなが  
ら…）法人理念の周知と具現化でし  
た。法人理念を基とした施設・職員  
の方針を、職員と共に時間をかけ、  
分かりやすく作り上げました。



## Q 印象に残っていることは？

長い間介護の仕事をしていると、  
多くのご利用者とお会い、そしてお  
看取りが近いご利用者の最期の思い  
に伝えられたかなと思う瞬間が幾度  
もありました。



身体はあちこちガタがきてるのに  
職員に頼らず何でも自分でやろうと  
する物静かなおばあちゃん（普段は  
苗字で呼んでいます。）も、そろそ  
ろという時、ぼそっと「家に帰りたい」  
。それを聞き逃さなかった職員  
と共に看護、リハ、相談員、ご家族  
、と、正に多職種連携の力で家に  
いくことができ、おばあちゃんは家  
に着くなり仏壇に手を合わせ、涙を  
流していました。ひとりのご利用者  
のためにたくさんの職員が団結し、  
素早い行動を目の当たりにし、太陽  
会職員の底力を実感いたしました。

## Q 皆さまに一言メッセージ

### 100年後も地域、顧客に 信頼される人材を育てたい

まだまだ未熟な自分で失敗するこ  
とも多々ありましたが、なんとかあ  
きらめず、さまざまなことにチャレ  
ンジしながら地域の方々、周りの職  
員に支えられてここまでやってく  
ることができました。

これからも5年先、10年先の未  
来を見据えながらご利用者、地域の  
ニーズに応えられるように、変化を  
恐れず進化していけるよう、また、  
誰もが教えられる職員となり途切  
れることなく100年後も地域にあり  
続け信頼されるような法人を目指し  
職員を育成して参りたい所存です。

そして、現在新型コロナウイルス  
感染症の拡大に伴いご苦慮されて  
いる方、ご尽力されている医療、福祉  
、行政関係者に深く敬意を表し、共  
にこの困難を乗り越えられる日がく  
ることを心より願っております。今  
後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 経営方針

私たちは、時代のさまざまな変化に  
素早く対応し、高齢者福祉のプロと  
して、ご利用者一人ひとりが生きが  
いを実感できるよう自立支援介護を  
目指します。職員一人ひとりが、各  
々の専門的な知識や技術を持ち寄  
り、ご利用者やそのご家族の立場に  
立って物事を考え、チームとしてサ  
ービスを提供できるよう努めます。  
地域福祉の拠点として、未来の人材  
育成や、地域の方々安心して老後  
を過ごせるよう社会に貢献してい  
きます。

## 「自立支援」介護

目的：ご利用者を元気にする。  
職員の能力向上。

目標：4つの自立支援の充実

- ①認知症ケア ②リハビリケア  
③口腔ケア ④看取りケア

### 5つのゼロ

- ①おむつゼロ ②胃ろうゼロ  
③骨折ゼロ ④拘束ゼロ  
⑤褥瘡ゼロ

## めぐみの里 職員方針

- ①相手の立場になって、**気づく**。
- ②**おもいやり**を持って考える。
- ③人間味ある**やさしさ**で言動する。
- ④**チームワーク**で共有する。
- ⑤**あきらめず、チャレンジ**する。

- ①まず、相手がどんな気持ちなのか気づかないと何もはじまらない。
- ②相手がどうしたらうれしいだろうか、いい方向に行くだろうかを考える。
- ③温かみのある言葉がけをしたり、実際に行動で示す。
- ④みんなで統一したケアを提供する。
- ⑤失敗・ミスしても修正を繰り返し、チャレンジし続けよう。

## みんなで作った水族館

さまざまなイベントが中止となる中、子ども  
たちに少しでも楽しみを届けたいと、職員一同  
力を合わせて、図書室を水族館に変身させま  
した！！

模様を描いたクマノミ、ちぎり絵で作った巨  
大マンタ、白紙から絵の具で描いた海の世界な  
ど、子どもたちの作品もたくさん。



認定こども園  
**OURS**  
☎ 04-7099-0800



見て、触って、聴いて、海の香りを感じ  
て…世界に一つだけの水族館に心躍る子  
どもたちでした。大成功♪

## 第5回サマーフェスティバル

先日、OURSの3大行事の1つであるサマーフェスティバルが  
開催されました。

子どもたちは、朝から浴衣や甚平を着て登園しOURS中がお祭  
りムード一色に。盆踊りや出店を楽しみ、お祭りメニューになった  
給食も堪能しました。

今年は、規模を縮小しての開催となりましたが、各クラスじっく  
りと祭りの雰囲気を満喫できました。



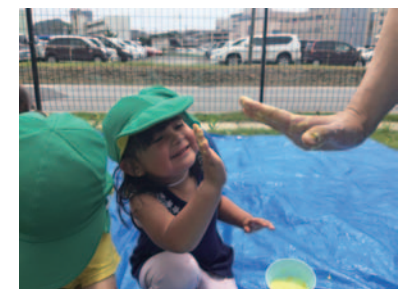
## 感触あそびで五感を磨こう!!



幼少期からさまざまな物に触れたり、体  
験することで、触覚・視覚・聴覚・嗅覚・味  
覚が育まれ、あらゆる発達につながる感触  
あそび。野菜の手触り・匂い・重さ、水で  
溶いた片栗粉のドロドロ・ベチャベチャ感、  
水の冷たさ・温かさなどが子どもたちの好  
奇心をかき立ててくれる大切な遊びです。



企業主導型保育所  
**OURS baby**  
☎ 04-7096-5800



## 好奇心いっぱい

刺激をたくさん受け、ちょうどいい  
感覚が身につく、想像力や考える力、  
新しいことに動じず受け入れる精神  
的な強さが持てるようになります。

OURS babyでは、年間を通しさまざまな感触あそびを展開していま  
す。子どもたちの好奇心を最大限に広げ、将来の夢と、自分自身の手で  
つかみ取ろうとする意志が持てるよう、これからも楽しい感触あそびで  
五感を磨いていきます。





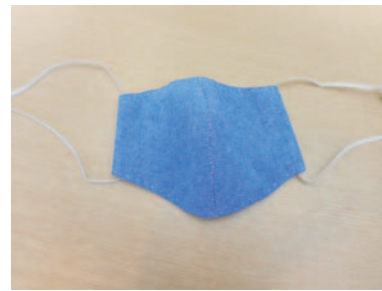
## 洋裁クラブでマスクづくり

行政より介護施設等へのマスクの支給が始まりましたが、自分たちが感染を拡大させない努力として、普段は服の洋裁を行う洋裁クラブで手作りマスクを作成する活動を行いました。

新型コロナウイルス感染収束のめどが立たない中で、今後またいつマスクが不足するかという不安を打ち消すために、普段洋裁で鍛えた腕で次々にマスクを作り、まんぼうご利用者、職員分が提供されました。



ケアハウス **まんぼう**  
☎ 04-7099-1331



外出前後の手指の消毒、ソーシャルディスタンスに対する配慮など、皆さまの自発的に感染予防する姿は心強く感じました。



## そうめん流し

7月19日(日)、あいにくの天気であり、室内でのそうめん流しとなりました。

新型コロナウイルスの影響もあり、3つの「密」を避けながら行いました。



そうめん流しをしている間、「上手にすくえない」、「難しい」、「楽しい」等の声が多く聞かれていました。



介護老人  
保健施設 **たいよう**  
☎ 04-7093-7711



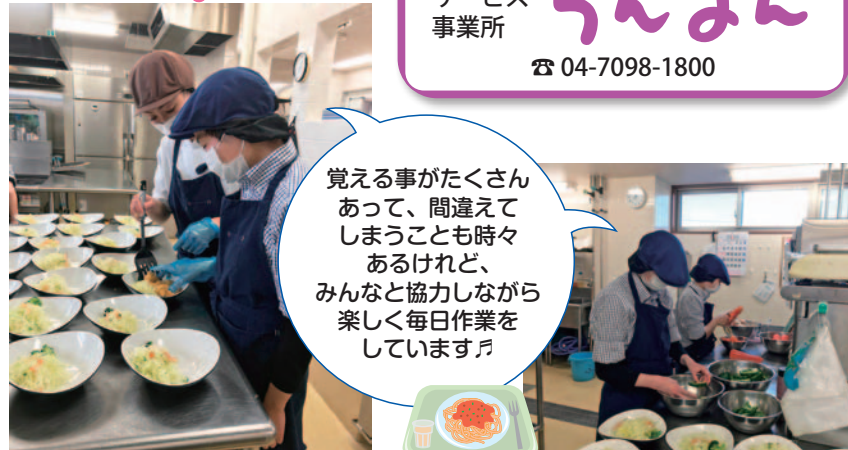
天気にも恵まれず、新型コロナウイルス影響のため3つの「密」を避けながらのそうめん流しでしたが、皆さん喜ばれている様子でした。

## 亀ママキッチンへようこそ!

2020年1月から亀田医療大学の学生食堂運営を行うことになり、6名のご利用者が交代で作業に取り組んでいます。

朝はまず打ち合わせと衛生チェックから始まり、1日の作業手順を各自で確認して食堂と厨房内の準備に分かれてスタート! テーブルを拭いて、お皿を準備、盛りつけて、あっという間に営業時間(汗)。

みんなで『いらっしゃいませ〜』と元気な声をだすと一気に活気があふれます。



障害福祉  
サービス  
事業所 **らんまん**  
☎ 04-7098-1800



## 今一押しの仕事がこれ!!

5月初旬、鴨川市から受託している駅前ロータリーの花壇整備で、汗を流しながら作業に奮闘! 一生懸命頑張っている姿に街の方々からも「きれいね」「頑張ってるね」など声をかけられ、元気いっぱいの笑顔で応えるご利用者。

これからは菜花の種まきが始まりますので、ぜひお楽しみに!



## 日中活動・ドライブ

新型コロナウイルスの影響で、外出や行事など自粛の中、日中活動では「ポッチャ」や「読み聞かせ」「貼り絵」「ボールプール」などを行って、みんなで楽しみました。また、オーシャンパークや海にドライブに行き、気分転換を図りました。車の窓を開けたら磯の香りに包まれ、「楽しかった! また行きたい♪」という声が聴かれ、自粛生活の中でも楽しむことができました。

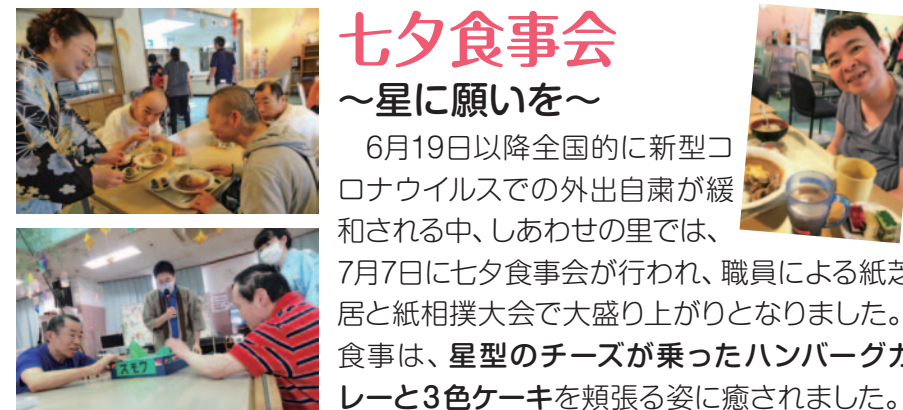


障害者支援施設  
**しあわせの里**  
☎ 04-7098-1110



## 七夕食事会 ~星に願いを~

6月19日以降全国的に新型コロナウイルスでの外出自粛が緩和される中、しあわせの里では、7月7日に七夕食事会が行われ、職員による紙芝居と紙相撲大会で大盛り上がりとなりました。食事は、星型のチーズが乗ったハンバーグカレーと3色ケーキを頬張る姿に癒されました。



浴衣を着た技能実習生(右から王さん、万さん)の姿に、ご利用者からは笑みがこぼれていました。



# そうめん いいね～



年明けから新型コロナウイルスが世界中大流行となり、ご利用者からも「家族が心配だよ」「お外に出られないの?」と、不安の声が聞かれました。そのような状況の中、7月5日(日)に、デイサービスフロアでそうめん流しを行ないました。

## 手法を変えて 元気に楽しく

今年は去年までの流れを少し変えました。今までは竹筒から流れるそうめんを箸などですくい、その場で食べていましたが、今年は新型コロナウイルスなどの感染予防のため、流れてくるそうめんをすくった後は、近くのテーブルで召し上がっていただく事にしました。



ご利用者は竹筒の前まで近寄って、箸などをつかみ、流れてくるそうめんを目で追いながら「取った!」と声を出してすくいあげ、テーブルに移動して「そうめんがおいしいねえ」と、頼張りおいしそうに話していました。

例年とは手法は違いますが、限られた中で元気に楽しく過ごせた事が、大きな励みとなりました。



特別養護老人ホーム

めぐみの里

☎ 04-7098-1000

ちょこっと PR

## らんまん一押し商品

らんまんのご利用者が描いた作品をプリントしたオリジナル新商品をご紹介します。

大山千枚田をモチーフにしたトートバック 900円(税込)

サイズ：幅35.5cm、高さ36cm、マチ10cm  
種類：夏バージョン(左)、夜バージョン(右)

ご紹介したバッグの他にも大山千枚田シリーズを多数取り揃えております。

お問い合わせは、らんまんスタッフまで ☎04-7098-1800



## 技能実習生のご紹介 No.3



周 海静さん  
出身地：中国山東省  
趣味：映画鑑賞

中国山東省の周海静さんは、介護士として働いており、日本語の勉強もしています。彼女は、介護の仕事が好きで、利用者さんと接する機会を大切にしています。また、映画鑑賞も趣味の一つです。周さんは、介護の仕事を通じて、多くの人々の役に立ちたいと考えています。

〈シュウさんの直筆です〉

太陽会日本語教員 根本 美穂

## 地域との連携・交流

ボランティアの受け入れは新型コロナウイルス感染症対策に伴い休止していますが、複数の個人の方、企業様から当法人の施設へ必要品のご寄贈のほか、温かい励ましのお言葉も多数いただきました。心より深く感謝申し上げます。

## ◆手作りマスク寄贈／たいよう デイケア



●4月初旬より 計3回 約50枚

<お名前> 飛田 禮子様

<施設よりひとこと>

ご主人様におかれては、「たいようデイケア」をご利用いただき誠にありがとうございました。マスクが足りず、手に入らないときに手作りのマスクをご提供いただき、励ましのお言葉と思いやりに感謝いたします。



## 勤続30年表彰者に聞く

太陽会に、初めて勤続30年表彰者が3名誕生しました(2019年度)。めぐみの里で勤続30年を迎えた鈴木康公さんに、お話を伺いました。



鈴木 康公(やすひろ)さん  
めぐみの里 相談員

※撮影のため一時的にマスクをはずして撮っています。

### 入職時を振り返って

1988年10月開設するめぐみの里デイサービスの職員募集に応募し、20代半ばでホテル業から転職しました。介護保険制度以前の、措置費制度の時代です。当時のデイサービスは、一市3町(鴨川市、天津小湊町、和田町、丸山町)の高齢者が対象でした。ご利用者は、介護度の重い方の利用が多く、入浴介助がたいへん喜ばれましたね。「お世話になります」「申し訳ない」と、感謝の言葉をいただきました。

当時、運転手として入職し、介護度の重い方を送迎することや入浴介助から段々と介護の仕事に従事し、相談員、在宅支援センターの仕事を経験しました。

現在は、デイサービスと在宅支援を担当。在宅支援の一環では、鴨川市委託事業・緊急通報システムを担当し、独居高齢者等の通報に対応しています。また、地域の老人会などに参加し、お年寄りと関わりながら地域と施設の橋渡しもしています。

### お年寄りに心がけていること

1. 言葉がけは大切。「どうですか? 大丈夫?」。お年寄りが不安感をもたないように。
2. お年寄りと同じ目線で。できれば、しゃがんで対応する。
3. 心に寄り添い、お話を聞かせていただく。
4. 行事の際など、不測の事態にもこちらが慌てずに対応することで、安心感を与える。

高齢者は家に閉じこもりがちになるので、「どうですか?」と、声かけをしながら、お話を聞き、不安解消を心がけています。

### 30年を振り返って

一番心に残っているのは、納涼祭など、大きな行事を職員が一丸となって準備をし、地域の人たちやご家族に参加していただいたことです。今も、地域と施設のつながりを大切に思っています。

### オフタイム

釣りが趣味。子どもの頃は釣って食べるのが楽しかった。大人になってからはブラックバスを釣るゲームフィッシングも。今はあまり…(笑)。



吉尾公民館にて



吉尾公民館にて老人会に参加 2020.8.7

シリーズ

## 人生の達人に聞く



- ・入居施設：ケアハウスまんぼう
- ・お名前：岡田 光子さん
- ・出身：千葉県勝浦市
- ・年齢：90歳
- ・好きな有名人：五木寛之

## 写真の趣味

退職後にNHKの写真講座で10年勉強しながら、素敵な景色があると撮影をしてきました。撮影をするために登山に出掛け、登山も趣味となりました。

表紙の写真は上高地の<sup>からさわ</sup>澗沢へ登山に行った途中で撮影したもので、写真の題名は「小さな秋」です。写真全体を絵のキャンバスのように考え、紅葉を自然の中から切り取り、周りの樹木を額になるようなイメージで撮影してみました。

写真を撮っていて気が付いたことは、他人の評価の良し悪しよりも「自分が一番いいと思った写真が良い物」だということです。

皆さんも、いろいろな趣味を見つけて楽しんでください。

\*本号表紙の写真は上高地、澗沢にて撮影。